

# 交通事業

- 鉄道事業
- 乗合・貸切自動車事業（バス事業）
- タクシー事業

## 鉄道事業

都心から川崎・横浜・横須賀を経て三浦半島に至る本線、空港線、大師線、逗子線、久里浜線の5路線を運営。通勤・通学の足として暮らしを支えています。一方で、羽田空港の航空需要の増大にあわせ、羽田空港アクセスを強化。安全・安定した輸送サービスを通じ、沿線地域の発展に貢献しています。

## |||| 都心へ通勤するお客さまの快適性を向上

### ■ 「モーニング・ウイング号」と「ウイング号」

朝の通勤時間帯に三浦海岸駅・横須賀中央駅・金沢文庫駅・上大岡駅から品川駅・泉岳寺駅まで座ってご乗車できる「モーニング・ウイング号」を運行しています。平日のみ1日2本の運行で、上大岡～品川駅間はノンストップ。三浦・横須賀方面から都心への通勤に京急線を快適に利用していただくことができます。2017年11月分より、「Wing Pass」、「Wing Ticket」とも座席発売数を増加（横須賀中央駅、金沢文庫駅、上大岡駅）し、より多くのお客さまに利用していただけるようになりました。平日夕方・夜の通勤時間帯に品川～上大岡駅間をノンストップで運行し、上大岡駅以南は快特停車駅に停車する電車が「ウイング号」です。現在は18:45～23:00の間で計11本を運行し、ラッシュ緩和に向けたサービスを拡充しています。

### 座席指定券購入サイト「KQuick」

WEB（スマートフォン、PC）で、「モーニング・ウイング号」と「ウイング号」の「Wing Ticket」および「モーニング・ウイング号」の「Wing Pass」をいつでもどこでも購入することができ、発売機に並ぶことなく、QRコードを係員にご提示いただくことでスムーズに乗車が可能です。窓側・通路側・補助席や号車など希望条件の選択も可能です。購入には会員登録（無料）が必要です。



「モーニング・ウイング号」と「ウイング号」座席情報画面

### ■ 特急列車などの混雑を緩和する「KQスタんぼ」アプリを配信

2019年7月1日からサービスを開始した「KQスタんぼ」は、平日朝の通勤ラッシュ時間帯における、快特や特急列車の混雑緩和を目的としたアプリです。平日7:30～9:00の間に、上り平和島～品川駅間において、比較的混雑度合いが低い普通列車へご乗車された京急プレミアポイントカードをお持ちのお客さまにポイントを付与し、普通列車への乗車を推奨することで混雑緩和を図ります。非可聴音をアプリに認識させることでポイント付与する日本初の仕組みで、普通列車走行中に車掌がタブレットを操作すると、自動車内放送の際に、人間の耳ではほぼ聞き取れない非可聴音も同時に放送。乗車中のお客さまが「KQスタんぼ」アプリを操作することで京急プレミアポイントが付与されます。



## |||| 連続立体交差事業

### ■ 大師線連続立体交差事業

川崎市の都市計画事業である大師線連続立体交差事業のうち、段階的整備区間として、東門前駅付近～小島新田駅付近の約980mを、2019年3月3日に地下へ切替えました。これにより、4か所あった踏切道のうち産業道路第1踏切道（東京大師横浜線）を含む3か所が除却され、踏切事故の解消や、道路交通の円滑化が図られました。さらに、廃止された東門前第2踏切道については、川崎市により跨線人道橋が整備されました。また、新たに地下駅となった産業道路駅では、お客さまに安心してご利用いただけるよう、火災対策設備などの安全対策を実施しました。2019年度は、産業道路駅の地上部で駅舎工事などの整備工事を進めています。



クレーンによる切替え作業



産業道路駅地下切替え後上り1番列車

### ■ 品川駅付近連続立体交差事業

泉岳寺～新馬場駅間においては、品川第1踏切道（八ツ山通り）をはじめとする計3か所の踏切道が存在し、踏切事故や交通渋滞の要因となっています。そのため、東京都の都市計画事業として同区間を高架化し、3か所の踏切道を除却いたします。また、品川駅の地平化および2面4線化を図り、現状の複雑な乗換動線の解消や移動距離の短縮など、わかりやすく利便性の高い駅へと再編します。都市計画の手続きとして、2018年12月に同区間の連続立体交差事業に関する都市計画決定がなされました。2019年度は、詳細設計を実施するとともに、早期事業着手に向けて事業主体である東京都と各種手続きを進めています。

連続立体交差事業区間 約1.7km



凡例	● 鉄道（現況）	● 保守用斜路	● 都市計画道路（事業中・完了）
	● 鉄道（事業区間）	● 区境	● 都市計画道路（計画）

## |||| 安全・安心への取り組み

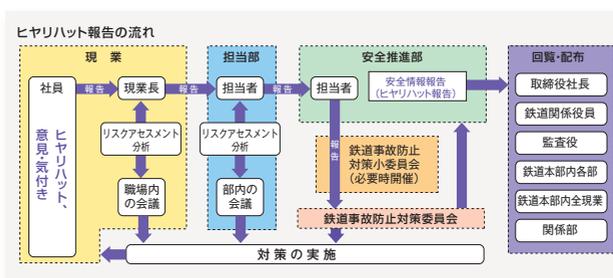
### ■ 2019年度 鉄道本部 安全重点施策

『誇り高き鉄道員として責任を自覚し、積極的な行動によって安全・安定輸送を継続する』

具体的な目標	取組計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄道運転事故 有責事故0件</li> <li>● 輸送障害 内部要因0件（外部要因も減少）の継続</li> <li>● インシデント 0件の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① コンプライアンス意識を確実に浸透させる取り組みとその効果の確認</li> <li>② 基本動作の理念を理解し、応用力を磨く取り組み</li> <li>③ 自然災害、事故・トラブル等の事象分析による、潜在リスクを予知する取り組み</li> <li>④ 意識・知識・技術の継承と教育訓練のPDCAサイクルの推進</li> <li>⑤ 強靱なインフラを目指し、設備・施設を早期に充実させる取り組み</li> </ul>

### ■ ヒヤリハット・事故情報などの収集・活用

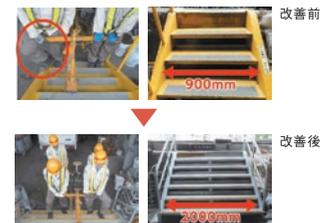
「ヒヤリハット」や安全に関する「意見・気付き」など、輸送の安全にかかわる情報については、体系的に集約・活用する体制を整備しています。また、ヒヤリハット報告については、リスクアセスメント分析を実施しています。



### ■ 2018年度のヒヤリハット情報による改善例

#### 昇降階段の拡幅

川崎保線区 川崎保線班において、夜間作業で使用する機材（レール削正機）を倉庫から線路内へ4名で運搬中、昇降階段が狭く足を踏み外し転倒する危険がありました。そのため、階段の幅を広くする改修を行い、危険性を解消しました。



### ■ 安全への設備投資（2019年度計画）

	2019年度計画	2018年度設備投資実績
総額	約271億円	約248億円
① 安全関係設備投資額	約229億円	約224億円
(1) ホームドア設置工事	約 38億円	約 10億円
(2) 新造車両と車両更新	約 35億円	約 69億円
(3) 駅改良工事（耐震補強含む）	約 28億円	約 48億円
(4) 防災・地震対策	約 18億円	約 23億円
(5) 連続立体交差化工事	約 22億円	約 5億円
(6) 変電所・電気保安設備などの電気施設の更新・改良	約 31億円	約 32億円
(7) 工場、検車庫の改良・改修ほか	約 57億円	約 37億円
② その他	約 42億円	約 24億円

## ■車両の安全対策

毎年度、継続的に車両の新造を進めており、2018年度は42両、2019年度は14両を新造し、あわせて車両の更新も行います。

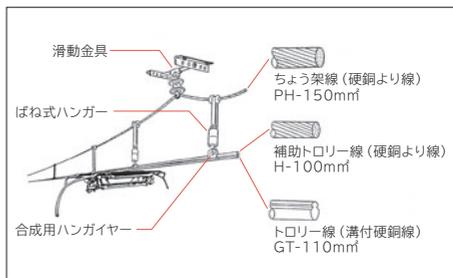
※2019年度計画 ●新造/新1000形ステンレス車：14両（6両編成×1本、8両編成×1本）  
●更新/新1000形アルミ車：8両



新1000形

## ■鉄道の要でもある電車線

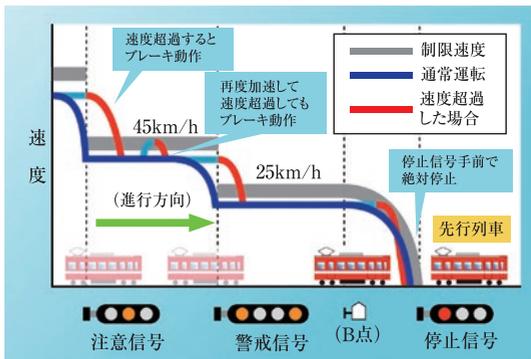
電車に電気を送る電車線の架設方法は、京急電鉄独特の合成電車線と、シンプルカテナリーの2種を採用していますが、今後は、切れにくく、より安全性の高い合成電車線化を全線で推進していきます。また、列車を走行させながら鉄柱間の径間、電車線の高さ・偏位・太さを測定できる営業車搭載型架線検測装置を導入し、保守作業の効率化を図っています。



## ■高機能ATSの導入

### ①C-ATSの導入

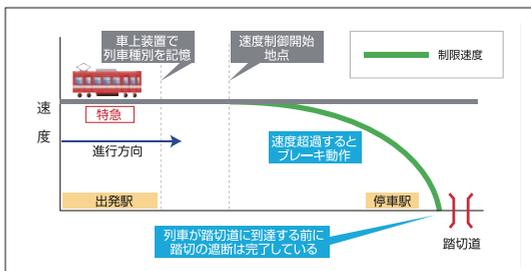
ATS（自動列車停止装置）は、運転士が誤って停止信号を現示する区間に進入しないように、停止信号の手前に自動的に列車などを停止させるバックアップ装置です。1968年から導入した1号型ATSを更新し、2009年から運用を開始した高機能ATS（C-ATS）は、高い信頼性と安全性が実証され、新幹線でも採用されている伝送方式を採用。それぞれの信号区間の制限速度にあわせてより細かい速度照査（スピードチェック）が可能になったほか、信号区間内を連続的に制御することができます。また、急曲線区間や分岐区間（ポイント）、線路終端部などでの速度制限にも対応し、保安度がさらに向上しました。



C-ATSの動作概要

### ②踏切道防護システムの導入

2012年6月、C-ATSの機能向上による「踏切道防護システム」の全線整備が完了いたしました。このシステムは、駅に停車すべき列車が誤って駅を通過した場合に、踏切道手前までに列車を停止させるか、踏切道に到達する前に踏切遮断機の遮断が完了するように列車を制御し、踏切道におけるさらなる安全性を向上したものです。

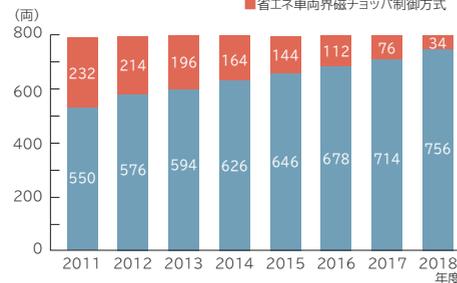


「踏切道防護システム」の動作概要

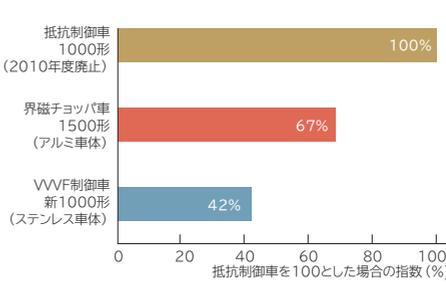
## ■リサイクル可能な省エネルギー車両を導入

電車の制動時に発生する電力を架線に戻し、ほかの電車の動力源として有効活用できる「電力回生ブレーキ」を備えた「界磁チョップ制御方式」を1978年度から採用。1990年度からは、さらに電力回生効率を高めた「VVVF制御方式」を採用しています。なお、2010年度に従来型の抵抗制御車両が廃止となり、全車両が「電力回生ブレーキ」を備えた省エネ車両となりました。電力量の削減効果は、約30%におよんでいます。また、1987年度以降「アルミ合金製」車体、2006年度以降「ステンレス製」車体の車両を採用し、従来車に比べ約15%の軽量化を達成しています。

### 省エネ車両導入の推移



### 車種による運転用エネルギーの違い



## ■環境を守るさまざまな設備

公共交通機関として欠かせない鉄道は、航空機、乗用車など数ある輸送機関のなかでもとりわけエネルギー効率の良さで注目されていますが、電車の運転本数の増加や、駅にエスカレーターやエレベーターを設置することに伴い、必要とする電力は年々増加しています。そこで、電力使用量を抑制するため、省エネ車両の導入、車両の軽量化および電力の再利用に取り組んできました。この省エネ車両の列車がブレーキをかけるときに発生する電力（回生電力）をフライホイールに機械的エネルギーの形で蓄勢し、必要なときに電力に変換して電車線に戻す「フライホイール式電車線電力蓄勢装置」や、回生電力を直流から交流に変換し、駅の高圧配電設備に供給する「電力回生インバータ装置」を設置し、電力の有効活用を図り、電力使用量の抑制に努めています。また、電力の安定供給を図るため、変電所の新設や高性能機器への更新を行ってきました。なお、現在20か所ある変電所は、すべて総合司令所施設司令が遠隔制御しています。

### フライホイール式電車線電力蓄勢装置

1981年に瀬戸変電所に試験的に設置。その実績をふまえ、1988年8月に逗子線神武寺～新逗子駅間に逗子フライホイールポストを新設。2018年は、この装置により逗子線内で使用されている電力の約17.2%を再生利用しています。



フライホイール式電車線電力蓄勢装置

### 電力回生インバータ装置

1998年5月にフライホイール式電車線電力蓄勢装置と同じ目的で羽田変電所に導入しました。

### 代替フロンの使用削減

変電所の整流装置の冷媒は、オゾン層破壊係数と地球温暖化係数がゼロとなる、純水ヒートパイプ自冷式を採用しています。

## ■ 駅の安全対策の実施

### ① 足下灯の設置

ホームと車両の隙間が空いている駅においては、従来からの足元を照らす照明をつけておりますが、より気付きやすく自動点滅式の足下灯（そっかとう）を設置し、注意喚起を行っており、現在17駅に設置しています。

### ② 非常停止ボタンの設置

ホーム上の「非常停止ボタン」を押すことで、運転士に危険を知らせることができる装置を、京急線全駅に設置し、事故の防止を図っています。



### ■ 駅ホームの改良工事でより安全快適に

ホームの安全性と利便性をより高める工事を推進しています。2016年度からホームの横断勾配を緩和する工事を進めており、2018年度は生麦駅、弘明寺駅、杉田駅での工事を完了しています。2019年度以降も引き続き工事を進めていきます。



杉田駅ホーム

### ■ ホームドアの設置

駅ホームにおけるさらなる安全性の強化を図るため、ホームドアの整備を進めています。2020年度までに、京急蒲田駅、京急川崎駅、横浜駅、上大岡駅、羽田空港国内線ターミナル駅の5駅にホームドアを設置します。



羽田空港国際線ターミナル駅に設置しているホームドア

### ■ 踏切道の安全対策

踏切道で緊急事態が発生したときに、列車運転士に知らせるための非常ボタンを京急線全踏切道に設置しており、さらなる視認性向上を目的に、非常ボタンのデザイン変更および看板の取り付けを行いました。夜でもボタンと看板が目立つように反射材料を採用したほか、イラストや英語表記を加え、外国人にもわかりやすい表示にしています。



### ■ 耐震補強工事

2018年度は新馬場～青物横丁駅間、鮫洲～立会川駅間、弘明寺～上大岡駅間、および京急久里浜～YRP野比駅間の耐震補強工事を実施しました。2019年度以降もさらなる耐震性能の向上のため工事に取り組んでいきます。



京急久里浜～YRP野比駅間

### ■ トンネル補修工事

2008年度から実施してきた抜本的な対策工事は2018年度で完了しました。2019年度以降は定期検査の結果に基づき管理していきます。



トンネルの補修工事の様子

### ■ 法面防護工事

法面の安定性を調査する定期検査を実施しており、必要箇所には法面防護工事を行っています。2018年度より追浜駅構内上り線側、横須賀中央～県立大学駅間上り線側の法面防護工事に着工し、2019年度に完了する予定です。



法面防護工事

## ■ 定期的な検査と整備

新町・金沢・久里浜検車区・品質管理区・機械区・電機区においては、電車を安全に運行するための定期的な車両の検査および快適な車両を提供するための整備を行っています。また、営業線の安定運行を円滑に行うため、総合司令所の運輸司令と連携し、突発的な事態にも素早く対応できるよう、体制を整えています。



車両管理区での点検

## ■ 線路の点検と保守作業

電車の安全輸送はもちろんのこと、快適な乗り心地を追求することも重要な課題となっています。線路の保守作業は、軌道検測などの保守点検を定期的実施し、軌道の整備をしているほか、深夜の作業の進捗を図るため、大型保線機械を導入し保守作業の効率化を推進しています。



## ■ 鉄道テロ対策

鉄道テロ対策の一環として、駅係員や警備員などによる列車内、駅構内、鉄道施設などの巡回、点検を行っています。また、ホームから駅事務室への問い合わせや、不審物を発見した際の通報に使用できるインターホンを全駅に設置しているほか、駅構内への防犯カメラの増設も進め、2018年度末時点で830台を設置。また、羽田空港国際線ターミナル駅には、映像からカートや不審物などの不動物物を検出する「放置物探知機能」を一部の防犯カメラに導入しております。さらに、警察・消防に協力をいただき、テロを想定した訓練を行っています。



## ■ 鉄道事故復旧訓練を実施

毎年秋に、久里浜工場で鉄道事故復旧訓練を実施しています。2018年度は、「地震の影響により、高架区間を走行中の列車が脱線、乗客に負傷者が発生し、線路・電気・通信設備が損傷する」という設定で、見学者を含め約660名が参加して、訓練を行いました。この訓練は、毎年お客さまへの公開を行っており、2018年度は約100名の方に見学していただきました。また、一般見学者の一部希望者および外国の方に、事故想定車両からの避難体験を行っていただきました。



## ■ 「京急ファミリー鉄道フェスタ」の開催

毎年5月に、普段公開していない京急電鉄久里浜工場を会場として、「京急ファミリー鉄道フェスタ」を開催しています。さまざまなイベントを通して、お客さまに京急電鉄の鉄道事業や、安全・安心への取り組みを知っていただく機会にもなっています。2019年も2万人を超える方にご来場いただきました。



# 車両の概要

## ■車両一覧

新1000形  
(貫通形・1800番台)



新1000形  
(ステンレス車)



新1000形  
(1200番台)



2007年に京急電鉄初のステンレス車体を採用して登場した車両です。車体にはカラーフィルムで京急の赤い電車のイメージを表現し、先頭部は普通鋼に赤色の塗装をして従来のスタイルを残しています。車内は車端部をロングシートに変更し、側窓を一部開閉可能としました。引き続き、バリアフリー対応をするとともに、乗務員室の背面に非常脱出ハンゴを設置。乗務員室は運転台を高くするなど乗務員の安全性と居住性を向上しました。また、主要機器は国産品を採用し、2012年度新造車からLED照明を採用しています。2015年度新造車1800番台から車体側面に幅広の赤と白色フィルムを採用しています。2017年度新造車1200番台から全面塗装を採用しています。<4両編成14本(56両)、6両編成24本(144両)、8両編成18本(144両)>

- 製造初年/2007年3月 ●定員/119人(先頭車)・130人(中間車) ●自重/33.5t(M2uc, M2sc)・32.5t(M1u, M1s)・32.0t(M1u)・28.5t(M2s)・24.5t(Tu, Ts) ●最大寸法(長さ×幅×屋根高さ)/18,000×2,791.8×3,630mm ●主電動機/155kW(三相誘導電動機)
- 制御装置/VVVF(1C-4M2群制御) ●ブレーキ装置/応荷重装置付き回生ブレーキ併用・全電気指令電磁直通ブレーキ ●冷房装置/41.9kW
- 性能/最高速度130km/h・加速度0.97m/S<sup>2</sup>・減速度1.11m/S<sup>2</sup>(常用)

新1000形  
(アルミ車)



2002年に登場した都営浅草線、京成線、北総線への乗り入れを考慮した車両です。車内は扉間がバケットタイプのロングシートで、車端部は補助イス付きのクロスシートとなっています。また、2100形と同様に海外製品を採用し、車両性能と居住性の向上を図りつつ、コスト低減も実現しました。さらに、全出入口扉にドア開閉チャイムの設置や冷房装置にオゾン層破壊係数ゼロの近代替冷媒の新規採用など、バリアフリーや環境対策にも貢献しています。2017年度から更新工事を行い、VVVF装置、主電動機の国産化やLED照明を採用するなどのリニューアルを図っています。<4両編成12本(48両)、8両編成9本(72両)>

- 製造初年/2002年2月 ●定員/122人(先頭車)・130人(中間車) ●自重/33.0t(Muc, Msc, Muc1, Msc1)・32.0t(Muc, Msc, M1uc1, Msc1)・31.0t(Mu, Ms, M2)・30.0t(M1u, M1s, M2u, M2s)・27.0t(Tpu, Tps, Tp)・24.0t(T)・23.0t(Tu, Ts) ●最大寸法(長さ×幅×屋根高さ)/18,000×2,830×3,645mm ●主電動機/190kW(三相誘導電動機) ●制御装置/VVVF(1C-8M制御) ●ブレーキ装置/応荷重装置付き回生ブレーキ併用・全電気指令電磁直通ブレーキ ●冷房装置/41.9kW(近代替冷媒使用)
- 性能/最高速度130km/h・加速度0.97m/S<sup>2</sup>・減速度1.11m/S<sup>2</sup>(常用)

2100形



1998年に2000形の後継車として登場した2扉オールクロスシート車両です。扉間のクロスシートは京急では初めての転換シートです。全出入口扉上部には車内案内表示器を採用し、連結間外観を採用するなど、バリアフリー対策にも配慮しており、主にウィング号、快特に使用しています。VVVF装置、主電動機は海外製品を採用していましたが、機器更新の際に国産品に置換えています。2013年度から更新工事を行い、LED照明を採用するなどのリニューアルを図りました。<8両編成10本(80両)>

- 製造初年/1998年2月 ●定員/111人(先頭車)・120人(中間車) ●自重/33.0t(Muc, Msc)・30.5t(Mu, Ms)・24.5t(T)・26.5t(Tp) ●最大寸法(長さ×幅×屋根高さ)/先頭車:18,170×2,830×3,645mm・中間車:18,000×2,830×3,645mm ●主電動機/190kW(三相誘導電動機) ●制御装置/VVVF(1C-4M制御) ●ブレーキ装置/応荷重装置付き回生ブレーキ併用・全電気指令電磁直通ブレーキ ●冷房装置/41.9kW
- 性能/最高速度130km/h・加速度0.97m/S<sup>2</sup>・減速度1.11m/S<sup>2</sup>(常用)

600形



1994年に登場した都営浅草線、京成線、北総線への乗り入れを考慮した車両です。足回りは省エネルギー、省メンテナンスを図ったVVVF制御方式を採用しています。製造当初は、画期的な3扉オールクロスシートを採用しましたが、2005年からは現在の二ーズにあわせ、ドア間の座席をロングシートに改造する工事が実施され、2009年からは更新工事を行い、リニューアルを図りました。<4両編成6本(24両)、8両編成8本(64両)>

- 製造初年/1994年3月 ●定員/118人(先頭車)・128人(中間車) ●自重/34.0t(Muc, Msc)・31.5t・32.5t(Mu, Ms)・23.5t(T)・25.5t(Tp1, Tp2) ●最大寸法(長さ×幅×屋根高さ)/18,000×2,830×3,645mm ●主電動機/180kW(三相誘導電動機) ●制御装置/VVVF(1C-4M制御) ●ブレーキ装置/応荷重装置付き回生ブレーキ併用・全電気指令電磁直通ブレーキ ●冷房装置/41.9kW ●性能/最高速度130km/h・加速度0.92m/S<sup>2</sup>・減速度1.11m/S<sup>2</sup>(常用)

1500形  
(VVVF制御車)



京急電鉄で初めて交流モーターを用いたVVVF制御方式を採用した、省エネルギー、省メンテナンス車両で1990年に登場しました。ブレーキを極力電力回生ブレーキとして一層の省エネルギーを図った新しいブレーキ方式を採用しました。2006年から更新工事を行い、リニューアルを図りました。また、界磁チョップ車からの改造車両も加わり、さらなる省エネルギー化を図っています。<6両編成15本(90両)、8両編成5本(40両)>

- 製造初年/1990年8月 ●定員/124人(先頭車)・134人(中間車) ●自重/32.0t・31.5t(M1c, M2c)・31.5t・31.0t(M1, M2)・24.5t・25.5t(Tu, Ts) ●最大寸法(長さ×幅×屋根高さ)/18,000×2,830×3,605mm ●主電動機/120kW(三相誘導電動機) ●制御装置/VVVF(1C-8M制御) ●ブレーキ装置/応荷重装置付き回生ブレーキ併用・全電気指令電磁直通ブレーキ ●冷房装置/41.9kW ●性能/最高速度130km/h・加速度0.97m/S<sup>2</sup>・減速度1.11m/S<sup>2</sup>(常用)

1500形  
(界磁チョップ制御車)



第2世代の都営浅草線、京成線、北総線への乗り入れ車両として、界磁チョップ制御を採用し、1985年に登場しました。1988年からはアルミ合金製車体を採用し軽量化を図りました。2001年から更新工事を行い、リニューアルと同時にバリアフリー化工事も行っています。<4両編成7本(28両)>

- 製造初年/1985年3月 ●定員/125人(先頭車)・134人(中間車) ●自重/35t(鋼製車)・31.5t(先頭M車)・31.0t(中間M車) ●最大寸法(長さ×幅×屋根高さ)/18,000×2,830×3,605mm ●主電動機/100kW ●制御装置/電動カム軸制御(界磁チョップ式) ●ブレーキ装置/応荷重装置付き回生ブレーキ併用・全電気指令電磁直通ブレーキ ●冷房装置/41.9kW
- 性能/最高速度120km/h・加速度0.972m/S<sup>2</sup>・減速度1.11m/S<sup>2</sup>(常用)

### 特別塗装車両

KEIKYU BLUE SKY TRAIN



KEIKYU YELLOW HAPPY TRAIN



「KEIKYU BLUE SKY TRAIN」は「羽田空港の空」と「三浦半島の海」をイメージした青い車体。2005年から600形と2100形の2編成で運用されています。「KEIKYU YELLOW HAPPY TRAIN」は幸せをイメージした黄色の車体。「沿線に幸せを運ぶ電車」として、2014年から新1000形1編成が運行しています。

### Column

#### さよなら「だるま」。省エネルギー車両の先駆け800形が引退

昨年3月に惜しまれつつ引退した2000形に続き、2019年6月19日に800形が定期運用から引退しました。800形は、1978年に3両固定編成、4扉車でデビュー。京急電鉄初の右手ワンハンドマスコンや、界磁チョップ制御、電力回生ブレーキを採用するなど、省エネルギー車両の先駆けとなり、1979年に京急として初のローレル賞を受賞しました。丸みのある左右対称の前面形状から、鉄道ファンからは「だるま」の愛称で親しまれ、1986年までに合計132両を製造。2016年には、1編成をデビュー当時の側窓周りを広幅に白く塗り分けたりバリアブル塗装で運行されていました。



※形式毎編成数は2019年6月30日現在

### ■主要保線機械

名称	用途	台数
モーターカー	ダンプトロリの牽引、他	11
マルチプルタイタンパー	道床のつき固め作業	1
バラストフィニッシャー	道床の締固めおよび砕石などの均し	2
低床トロリ	レール、PCまくら木などの運搬	11
ダンプトロリ	砕石、残土などの運搬	26

名称	用途	台数
遠隔制御車	走行中の遠隔操作	2
軌道検測車	軌間、通り、水準、高低などの検測	1
レール探傷車	レールの超音波探傷	1
レール洗浄	レールの洗浄	1
ホーム離れ、レール断面測定車	ホーム離れ、レール断面の測定	1
レール削正車	レール頭部の削正	1



軌道検測車「EM30D」  
軌間、水準、高低、通り、平面性を検測します。



マルチプルタイタンパー「08-16U」  
軌道の保守（軌道の高低、通り、水準）をする作業車です。



バラストフィニッシャー「801B」  
マルチプルタイタンパー作業後の軌道整備時に活躍します。



モーターカー「105D」  
ダンプトロリなどを牽引し、レールや砕石を運搬します。



遠隔制御車「701B」  
道床砕石や残土を積載し、低床トロリの端部で活躍します。



レール削正車「RG301」  
レール頭部の形状を適切に保つため、レール頭部を削る作業車です。

### ■土木設備

まくら木の敷設延長	186,065m
道床砂利の敷設延長	157,722m
橋梁	328か所 7,791m
高架橋	163か所 40,899m
こう橋	5か所 21.2m
構内地下道	21か所 101.9m
トンネル	39か所 23,046m
停車場	72か所
踏切道	86か所

- 1.橋梁の内訳
- (1) 河川に架かるもの：77か所 1,523m
  - (2) 道路に架かるもの：246か所 3,581m
  - (3) 線路に架かるもの：3か所 79.8m
  - (4) その他：9か所 22.8m
- 2.主な橋梁
- 六郷川橋梁 550.6m
- 3.主なトンネル
- (1) 羽田トンネル（穴守稲荷～天空橋） 829.251m
  - 羽田第2トンネル（天空橋～羽田空港） 4,441.95m
  - (2) 野比トンネル（京急久里浜～YRP野比） 681.400m
  - (3) 野毛山トンネル（戸部～日ノ出町） 658.624m
  - (4) 汐留トンネル（汐入～横須賀中央） 514.990m

### ■運転用・付帯用電力使用量推移

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
運転用電力使用量	205	209	202	199	199	196	191
付帯用電力使用量	43	44	44	44	44	44	44
受電電力使用量（運転用+付帯用）	248	253	246	243	243	240	235

(単位:100万kWh)

### ■在籍車両数 (2019年3月31日現在)

電動客車				電動貨車				総車両数
形式	在籍車両数	形式	在籍車両数	形式	在籍車両数	形式	在籍車両数	
デハ800	6			デト11	1			796
デハ1500	118	サハ1900	40	デト12	1			
デハ600	58	サハ600	30	デト17	2			
デハ2100	40	サハ2100	40	デト18	2			
デハ1000	332	サハ1000	126					
合計	554	合計	236	合計	6			

(単位:両)

### ■車両数の変遷

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
電動客車	591	585	577	575	572	568	554
附随客車	199	205	213	215	218	222	236

(単位:両)

### ■鉄道事業の主な資料

### ■普通運賃・通勤定期運賃主要駅早見表 (2019年10月1日適用)

定期運賃	品川	平和島	京急蒲田	国際線ターミナル	羽田空港ターミナル	国内線ターミナル	京急川崎	小島新田	横浜	上大岡	金沢文庫	金沢八景	新逗子	横須賀中央	浦賀	京急久里浜	三崎口	普通運賃	通勤定期運賃
																		上段:1Cカード	上段:1か月
普通運賃	6,350	7,090	10,650	11,250	8,510	10,010	11,800	14,210	16,890	17,180	18,910	19,770	21,510	21,790	24,380	24,380	24,380	18,910	18,910
品川	18,100	20,210	30,360	32,070	24,260	28,530	33,630	40,500	48,140	48,970	53,900	56,350	61,310	62,110	69,490	69,490	69,490	53,900	53,900
平和島	34,290	38,290	57,520	60,760	45,960	54,060	63,720	76,740	91,210	92,780	102,120	106,760	116,160	117,670	131,660	131,660	131,660	102,120	102,120
京急蒲田	199	136																	
200	140																		
羽田空港国際線ターミナル	292	249	207																
300	250	210																	
羽田空港国内線ターミナル	292	249	249	136															
300	250	250	140																
京急川崎	232	199	157	249	292														
240	200	160	250	300															
小島新田	283	242	199	292	292	157													
290	250	200	300	300	160														
横浜	303	283	242	333	364	232	242												
310	290	250	340	370	240	250													
上大岡	430	367	314	417	417	283	314	199											
430	370	320	420	420	290	320	200												
金沢文庫	492	430	430	542	542	367	430	283	199										
500	430	430	550	550	370	430	290	200											
金沢八景	576	492	430	542	542	367	430	283	242	136									
580	500	430	550	550	370	430	290	250	140										
新逗子	650	576	492	626	700	430	492	314	283	199	157								
650	580	500	630	700	430	500	320	290	200	160									
横須賀中央	650	576	576	700	700	492	576	367	283	242	199	242							
650	580	580	700	700	500	580	370	290	250	200	250								
浦賀	796	650	650	773	773	576	650	430	314	283	242	314	157						
800	650	650	780	780	580	650	430	320	290	250	320	160							
京急久里浜	796	723	650	773	846	576	650	430	367	283	283	314	199	199					
800	730	650	780	850	580	650	430	370	290	290	320	200	200						
三崎口	943	796	796	920	920	723	796	576	430	367	314	430	283	283	199				
950	800	800	920	920	730	800	580	430	370	320	430	290	290	200					

### ■線別区間距離

線名	区間	区間距離
本線	泉岳寺～浦賀	56.7km
空港線	京急蒲田～羽田空港国内線ターミナル	6.5km
大師線	京急川崎～小島新田	4.5km
逗子線	金沢八景～新逗子	5.9km
久里浜線	堀ノ内～三崎口	13.4km
計		87.0km

### ■所要時分の目安（日中標準）

2019年3月31日現在  
(単位:分)

駅名	京急蒲田	今川	羽田空港線ターミナル	羽田空港国内線ターミナル	京急川崎	横濱	上大岡	金沢文庫	横須賀中央	京急久里浜	三浦海岸	三崎口
品川	6	11	14	10	17	26	34	43	53	62	65	
京急蒲田		5	8	2	9	19	26	36	45	55	58	
羽田空港国際線ターミナル			2	12	23	35	47	—	—	—	—	
羽田空港国内線ターミナル			16	28	39	52	—	—	—	—	—	
京急川崎				6	15	23	33	42	52	55		
横濱					8	15	25	34	44	47		
上大岡						6	16	25	35	38		
金沢文庫							9	18	28	31		
横須賀中央								8	18	21		
京急久里浜									8	11		
三浦海岸											2	

※日中、快特を利用の場合。  
 ※羽田空港国内線ターミナル⇄横濱方面は、✕エアポート急行を利用の場合。  
 ※品川⇄羽田空港方面は、✕エアポート快特を利用の場合。

### ■駅別1日平均乗降人員

2018年度(単位:人)

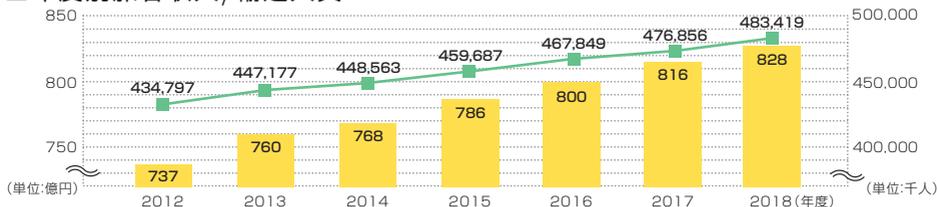
線	駅名	乗降人員			順位	開業日	備考
		乗降人員	順位	開業日			
本線	泉岳寺	202,800	—	1968. 6.21			
	品川	288,196	2	1933. 4. 1			
	北品川	9,697	59	1904. 5. 8			
	新馬場	16,667	44	1976.10.15			
	青物横丁	43,633	11	1904. 5. 8			
	鮎洲	11,234	56	1904. 5. 8			
	立会川	19,554	37	1904. 5. 8			
	大森海岸	16,185	49	1901. 2. 1			
	平和島	48,608	10	1901. 2. 1			
	大森町	22,276	31	1952.12.15			
	梅屋敷	16,438	46	1901. 2. 1			
	京急蒲田	64,280	8	1901. 2. 1			
	雑色	31,941	16	1901. 2. 1			
	六郷土手	16,470	45	1901. 2. 1			
	京急川崎	131,920	4	1902. 9. 1			
	八丁畷	16,036	50	1916.12.25			
	鶴見市場	21,325	33	1905.12.24			
	京急鶴見	33,460	15	1905.12.24			
	花月園前	6,953	66	1914. 4.12			
	生麦	29,882	20	1905.12.24			
京急新子安	8,596	61	1910. 3.27				
子安	7,852	63	1905.12.24				
神奈川新町	19,682	36	1915. 8.21				
仲木戸	23,567	27	1905.12.24				
神奈川	4,872	71	1930. 3.29				
空港線	横濱	327,025	1	1930. 2. 5			
	戸部	16,337	47	1931.12.26			
	日ノ出町	28,814	22	1931.12.26			
	黄金町	22,958	28	1930. 4. 1			
	南太田	17,699	42	1930. 4. 1			
	井土ヶ谷	29,347	21	1930. 4. 1			
	弘明寺	30,115	19	1930. 4. 1			
	上大岡	144,624	3	1930. 4. 1			
	屏風浦	18,335	40	1930. 4. 1			
	杉田	34,511	14	1930. 7.10			
大師線	京急富岡	22,410	30	1930. 7.10			
	能見台	30,831	17	1944. 5.10			
	金沢文庫	70,673	6	1930. 4. 1			
	金沢八景	59,039	9	1930. 4. 1			
	追浜	42,727	13	1930. 4. 1			
	京急蒲田	12,971	52	1930. 4. 1			
	安針塚	4,807	72	1934.10. 1			
	逸見	5,290	69	1930. 4. 1			
	汐入	21,514	32	1930. 4. 1			
	横須賀中央	67,300	7	1930. 4. 1			
逗子線	横立大学	12,424	53	1930. 4. 1			
	堀ノ内	12,312	54	1931. 4. 1			
	京急大津	5,043	70	1930. 4. 1			
	馬場海岸	9,240	60	1930. 4. 1			
	浦賀	20,853	35	1930. 4. 1			
	久里浜線	港町	8,133	62	1932. 3.21		
		鈴木町	10,389	58	1929.12.10		
		川崎大師	18,050	41	1899. 1.21		
		東門前	13,016	51	1944. 6. 1		
		産業道路	10,842	57	1944. 6. 1		
小島新田		22,453	29	1944.10. 1			
六浦		16,188	48	1949. 3. 1			
神武寺		7,028	65	1931. 4. 1			
新逗子		25,273	26	1985. 3. 2			
新大津		6,857	67	1942.12. 1			
空港線	北久里浜	26,105	25	1942.12. 1			
	京急久里浜	43,422	12	1942.12. 1			
	YRP野比	18,677	39	1963.11. 1			
	京急長沢	7,396	64	1966. 3.27			
	津久井浜	6,432	68	1966. 3.27			
久里浜線	三浦海岸	11,458	55	1966. 7. 7			
	三崎口	17,424	43	1975. 4.26			
	久里浜線	2,669,217					

※泉岳寺駅乗降人員は都営線乗り入れ旅客を含むため、順位には入れていません。

全線合計…2,669,217

### ■年度別旅客収入/輸送人員

(定期外旅客/定期旅客合計)



### ■運賃のご案内

#### ①運賃の年齢区分

年齢	区分	運賃
12歳以上	大人	大人運賃 ただし、13歳未満の小中学生は小児となります。
6歳以上 12歳未満	小児	小児運賃 大人運賃の半額 ただし、7歳未満で小学校入学前は幼児となります。 ※きっぷの運賃は10円未満切り上げ、ICカードの運賃は1円未満切り捨て
1歳以上 6歳未満	幼児	無料 ただし、乗車券(団体乗車券を除く)をお持ちの大人または小児に同伴される2人までの幼児に限りです。 なお、同伴で3人目からの幼児または幼児だけでご乗車される場合は小児運賃となります。
0歳以上 1歳未満	乳児	無料

#### ②1円単位の運賃となる場合

1枚のICカードを利用して入出場した場合、1円単位の運賃が適用されます。

#### ③10円単位の運賃となる場合

現金・ICカード(SF)を利用して、きっぷを購入する場合や、きっぷ・磁気定期券で入場し、のりこし精算する場合は、10円単位の運賃が適用されます。

### ■きっぷのご案内

#### ①きっぷの発売

- 片道券 購入当日のみ有効です。都営地下鉄線、京成線、北総線、JR線(品川駅乗り換えと八丁畷駅乗り換えおよび横濱駅乗り換えがあります)、東急線、みなとみらい線、相鉄線、東京モノレール線、東京湾フェリー(金谷港:2日間有効)への連絡乗車券も発売しています。
- 往復券 京急線内の同じ駅間を往復される場合、便利な往復券を発売しています。運賃は片道普通運賃の2倍で、有効期間は購入日から2日間です。
- 回数券 京急線内の同じ区間を繰り返し乗車される場合は、回数券がお得です。運賃は普通運賃の10倍で、有効期間は購入日から3か月です。回数券には次の3種類があります。

- (1) 普通回数券 11枚で、有効期間内ならご利用いただける日時の制限はありません。
  - (2) 時差回数券(オフピークチケット) ※小児用はありません。12枚で、平日ダイヤ実施日の10時～16時までの間に改札機を入場される場合と、土休日ダイヤ実施日の終日にご利用いただけます。
  - (3) 土休日割引回数券(サンキューチケット) ※小児用はありません。14枚で、土休日ダイヤ実施日の終日にご利用いただけます。
- ※途中下車はできません。途中で下車すると前途無効として回収いたします。 ※購入駅から有効な区間を発売いたします。

#### ②定期券の発売

- 定期券 同じ区間を長い期間繰り返し利用される場合は、定期券が便利です。定期券の運賃は10円単位の運賃となります。定期券には、次の種類があります。

- 【種類】(1) 通勤定期券 (2) 通学定期券 【期間】1か月、3か月、6か月  
 【発売日】(1) 新規にお求めになる場合:有効開始日の14日前から発売いたします。  
 (2) 継続定期乗車券(日にちがつながる場合):定期券の期限が切れる14日前(使用開始日から起算)から発売いたします。
- ※定期券(磁気式)を紛失された場合は、再発行しません。保管には十分ご注意ください。

#### ●定期券の発売箇所と発売時間

- (1) 京急線全駅(泉岳寺駅を除く)の「定期券」表示がある自動券売機 発売時間:始発～終車(一部の駅を除く)  
 ※通学定期券を新規に購入する場合や、学年をまたいで継続される場合は、係員にお知らせください。通学証明書を確認させていただきます。  
 ※クレジットカード(京急カードのみ)での購入は始発から23時00分までです。
- (2) 定期券窓口(発売時間:8時～20時)  
 ○品川駅 ○横浜駅 ○上大岡駅 ○横須賀中央駅  
 ※払い戻しは、京急線全駅(泉岳寺駅を除く)および上記の定期券窓口で行っています。

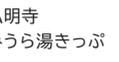
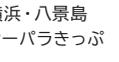
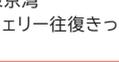
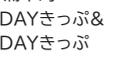
③ 途中下車

片道券、往復券、回数券では途中下車できません。途中の駅で下車されると、前途は無効となり、きっぷは回収させていただきます。

④ おトクなきっぷ

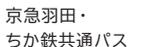
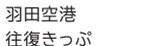
京急線各駅からのきっぷに観光・レジャー施設の優待特典がついたものや、羽田空港アクセスに便利なきっぷなど、さまざまなおトクなきっぷがあります。

●京急沿線を満喫できるおトクなきっぷ

		料金(大人)	発売箇所	有効期間
 <p>みさきまぐろきっぷ</p>	乗車駅から三崎口駅までの京急線往復乗車券と三浦・三崎エリア指定区間の京急バスフリー乗車券、厳選したまぐろ料理が楽しめるまぐろまんがく券とレジャー施設利用またはお土産の引き換えができる三浦・三崎おもひで券がセットになった人気のきっぷです。三浦・三崎をまるごとおトクに楽しめます。	品川駅から 3,570円 横浜駅から 3,480円	京急線各駅 (泉岳寺駅・三崎口駅を除く)	発売当日限り
 <p>よこすか満喫きっぷ</p>	乗車駅から汐入駅または堀ノ内駅までの京急線往復乗車券と京急バス・京急バスの横須賀エリア指定区間のフリー乗車券に、ヨコスカネイビーパーク一、よこすか海軍カレー、三浦半島の地産メニューの中から選べる食べる券に、施設利用またはお土産引き換えができる遊ぶ券がセットになった横須賀を1日満喫できるきっぷです。	品川駅から 3,110円 横浜駅から 3,010円 フリー区間の駅から 2,730円	京急線各駅 (泉岳寺駅を除く)	発売当日限り
 <p>葉山女子旅きっぷ</p>	乗車駅から新逗子駅までの京急線往復乗車券と逗子・葉山エリア指定区間の京急バスフリー乗車券、選べるごはん券、選べるごほうび券がセットになった、逗子・葉山を1日楽しめるきっぷです。	品川駅から 3,500円 横浜駅から 3,300円	京急線各駅 (泉岳寺駅・新逗子駅を除く)	発売当日限り
 <p>弘明寺みうら湯きっぷ</p>	乗車駅から弘明寺駅までの京急線往復乗車券と黒湯天然温泉を使った日帰り入浴施設「みうら湯」の入浴券がセットになったきっぷです。	品川駅から 1,240円 横浜駅から 950円	京急線各駅 (泉岳寺駅・羽田空港国際線ターミナル駅・羽田空港国内線ターミナル駅・弘明寺駅を除く)	2日
 <p>横浜・八景島シーバラきっぷ</p>	乗車駅から金沢八景駅までの京急線往復乗車券と横浜シーサイドライン1日乗車券、横浜・八景島シーパラダイスのワンデーパスとクーポン券の引換券がセットになったきっぷです。	品川駅から 5,450円 横浜駅から 5,040円	京急線各駅 (泉岳寺駅・羽田空港国際線ターミナル駅・羽田空港国内線ターミナル駅・金沢八景駅を除く)	1日
 <p>東京湾フェリー往復きっぷ</p>	乗車駅から京急久里浜駅・久里浜港までの京急線&京急バスの往復乗車券と、東京湾フェリー往復乗船券がセットになったきっぷです。南房総エリアの周遊に便利です。	品川駅から 2,980円 横浜駅から 2,320円	京急線各駅 (泉岳寺駅・京急久里浜駅を除く)	4日
 <p>三浦半島1DAYきっぷ&amp;2DAYきっぷ</p>	乗車駅から金沢文庫駅までの京急線往復乗車券と、三浦半島の指定エリア内の京急線、京急バスのフリー乗車券がセットになったおトクなきっぷです。優待特典を使って、1日または2日間、たっぷり楽しめます。	1DAY / 2DAY 品川駅から 1,960円 / 2,070円 横浜駅から 1,440円 / 1,660円 フリー区間の駅から 1,110円 / 発売なし	1DAY 京急線各駅 (泉岳寺駅を除く) 2DAY 京急線品川駅～上大岡駅間各駅、空港線、大師線各駅	1日 or 2日
 <p>東京1DAYきっぷ</p>	乗車駅から品川駅までの京急線往復乗車券と都営地下鉄線、都バス(一部を除く)、都電、日暮里・舎人ライナーの1日乗車券がセットになった、東京を満喫できるきっぷです。	品川駅から 900円 横浜駅から 1,140円	京急線各駅 (泉岳寺駅を除く)	1日
 <p>横浜1DAYきっぷ</p>	乗車駅から横浜駅または上大岡駅までの京急線往復乗車券と、指定区間の横浜市営地下鉄線・市営バスおよびみとみとみり線が乗り放題のフリー区間1日乗車券のセットで、人気の横浜を自由に散策できるきっぷです。	品川駅から 1,120円 横浜駅から 840円	京急線各駅 (泉岳寺駅を除く)	1日

※ 2019年10月1日現在

●羽田をもっと便利に使えるおトクなきっぷ

		料金(大人)	発売箇所	有効期間
 <p>京急ANAのマイルきっぷ</p>	全国15空港に設置している自動券売機で発売する京急線羽田空港国内線ターミナル～品川駅または泉岳寺駅までの片道もしくは往復きっぷです。購入時に、ANAカードまたはANAマイレージクラブカードを投入するか、ANAマイレージクラブお客様番号(10桁)を入力すると、ANAのマイルが貯まります。	品川駅/泉岳寺駅 片道 300円/340円 (20マイル付与) 往復 600円/680円 (50マイル付与)	各地空港 (全国15空港)	片道: 発行日当日限り 往復: 発行日から10日
 <p>京急羽田・ちか鉄共通バス</p>	京急線羽田空港国内線ターミナル駅または羽田空港国際線ターミナル～泉岳寺駅の片道乗車券と、都営地下鉄線、東京メトロ全線の1日乗車券がセットになったきっぷです。話題のスポットが目押しした東京を、リーズナブルに楽しめます。	1,200円	京急線羽田空港国内線ターミナル駅・羽田空港国際線ターミナル駅	1日
 <p>羽田空港往復きっぷ</p>	期間限定で発売する京急線羽田空港国内線ターミナル駅～都営地下鉄線各駅相互間の往復割引きっぷです。旅行や帰省に便利です。 ※発売期間 4/26～5/5、8/1～8/15、12/23～1/6	900円	都営地下鉄各駅(押上駅・目黒駅・白金台駅・白金高輪駅・新宿線新宿駅を除く)および京急線羽田空港国内線ターミナル駅	発売日から9日
 <p>羽田&amp;Tokyo Subway Ticket (24-hour, 48-hour, 72-hour)</p>	羽田空港国内線ターミナル～泉岳寺駅の往復乗車券と都営地下鉄線、東京メトロ全線のフリー乗車券がセットになったきっぷです。使用開始から24時間、48時間、72時間有効の3種類があり、用途に合わせて選べます。	24時間券 1,300円 48時間券 1,700円 72時間券 2,000円	各地空港 (全国15空港)	発売日から9日

※ 2019年10月1日現在

Column

北斗の拳35周年×京急120周年記念 北斗京急周年のキャンペーン 駅名看板を「京急かあまたたた一駅」などに特別装飾

2018年7月30日から9月17日の期間、1983年から1988年まで『週刊少年ジャンプ』に連載され、当時社会現象になるほどの高い人気を誇った『北斗の拳』の35周年と、2018年に創立120周年を迎えた京急電鉄が、双方の周年を記念し、キャンペーンを実施しました。駅名看板を『北斗の拳』仕様で特別装飾したほか、記念乗車券「北斗の券」を発売。また、京急蒲田駅、羽田空港国際線ターミナル駅、小島新田駅、京急川崎駅、上大岡駅、県立大学駅、三浦海岸駅の7駅を北斗七星に見立てて巡る、スタンプラリーきっぷも発売し、好評を博しました。



■ 駅所在地一覧

駅名	郵便番号	所在地
品川駅	108-0074	港区高輪3-26-26
北品川駅	140-0001	品川区北品川1-1-4
新馬場駅	140-0001	品川区北品川2-18-1
青物横丁駅	140-0004	品川区南品川3-1-20
鮫洲駅	140-0011	品川区東大井1-2-20
立会川駅	140-0011	品川区東大井2-23-1
大森海岸駅	140-0013	品川区南大井3-32-1
平和島駅	143-0016	大田区大森北6-13-11
大森町駅	143-0015	大田区大森西3-24-7
梅屋敷駅	144-0052	大田区蒲田2-28-1
京急蒲田駅	144-0052	大田区蒲田4-50-10
雑色駅	144-0055	大田区仲六郷2-42-1
六郷土手駅	144-0055	大田区仲六郷4-27-11
京急川崎駅	210-0006	川崎市川崎区砂子1-3-1
八丁畷駅	210-0022	川崎市川崎区池田1-6-1
鶴見市場駅	230-0025	横浜市鶴見区市場大和町7-1
京急鶴見駅	230-0051	横浜市鶴見区鶴見中央1-30-22
花月園駅 花月維持寺駅(※)	230-0052	横浜市鶴見区生麦5-1-3
生麦駅	230-0052	横浜市鶴見区生麦3-1-35
京急新子安駅	221-0021	横浜市神奈川区子安通3-289
子安駅	221-0021	横浜市神奈川区子安通1-46
神奈川新町駅	221-0041	横浜市神奈川区亀住町19-1
仲木戸駅 京急東神奈川駅(※)	221-0044	横浜市神奈川区東神奈川1-11-5
神奈川駅	221-0057	横浜市神奈川区青木町1-1
横浜駅	220-0011	横浜市西区高島2-16-1
戸部駅	220-0041	横浜市西区戸部本町48-11
日ノ出町駅	231-0066	横浜市中区日ノ出町1-31
黄金町駅	232-0005	横浜市中区白金町1-1
南太田駅	232-0006	横浜市中区南太田1-25-1
井土ヶ谷駅	232-0052	横浜市中区井土ヶ谷中町161
弘明寺駅	232-0067	横浜市中区弘明寺町山下267
上大岡駅	233-0002	横浜市中区上大岡西1-6-1
屏風浦駅	235-0023	横浜市磯子区森3-18-6
杉田駅	235-0033	横浜市磯子区杉田2-1-9
京急富岡駅	236-0052	横浜市金沢区富岡西7-1-1
能見台駅	236-0053	横浜市金沢区能見台通2-1

駅名	郵便番号	所在地
金沢文庫駅	236-0016	横浜市金沢区谷津町384
金沢八景駅	236-0027	横浜市金沢区瀬戸15-1
追浜駅	237-0064	横須賀市追浜町3-3
京急田浦駅	237-0076	横須賀市船越町5-2
安針塚駅	237-0072	横須賀市長浦町2-32
逸見駅	238-0045	横須賀市東逸見町2-18
汐入駅	238-0042	横須賀市汐入町2-41
横須賀中央駅	238-0007	横須賀市若松町2-25
県立大学駅	238-0012	横須賀市安浦町2-28
堀ノ内駅	238-0014	横須賀市三春町3-45
京急大津駅	239-0808	横須賀市大津町1-11-19
馬堀海岸駅	239-0802	横須賀市馬堀町3-20-1
浦賀駅	239-0822	横須賀市浦賀町1-1-1
糞谷駅	144-0034	大田区西糞谷4-13-19
大鳥居駅	144-0034	大田区西糞谷3-37-18
穴守稲荷駅	144-0043	大田区羽田4-6-11
天空橋駅	144-0041	大田区羽田空港1-1-2
羽田空港国際線ターミナル駅 羽田空港第3ターミナル駅(※)	144-0041	大田区羽田空港2-6-5
羽田空港国内線ターミナル駅 羽田空港第1・第2ターミナル駅(※)	144-0041	大田区羽田空港3-3-4
港町駅	210-0807	川崎市川崎区港町1-1
鈴木町駅	210-0801	川崎市川崎区鈴木町2-2
川崎大師駅	210-0802	川崎市川崎区大師駅前1-18-1
東門前駅	210-0818	川崎市川崎区中瀬3-23-10
産業道路駅 大師橋駅(※)	210-0811	川崎市川崎区大師河原2-4-25
小島新田駅	210-0822	川崎市川崎区田町2-13-5
六浦駅	236-0031	横浜市金沢区六浦5-1-1
神武寺駅	249-0003	逗子市池子2-11-2
新逗子駅 逗子・葉山駅(※)	249-0006	逗子市逗子5-1-6
新大津駅	239-0808	横須賀市大津町4-7-1
北久里浜駅	239-0807	横須賀市根岸町2-29-1
京急久里浜駅	239-0831	横須賀市久里浜4-4-10
YRP野比駅	239-0841	横須賀市野比1-9-1
京急長沢駅	239-0842	横須賀市長沢1-35-1
津久井浜駅	239-0843	横須賀市津久井4-2-1
三浦海岸駅	238-0101	三浦市南下浦町上宮田1497
三崎口駅	238-0111	三浦市初声町下宮田495

※ 2020年3月以降の新駅名

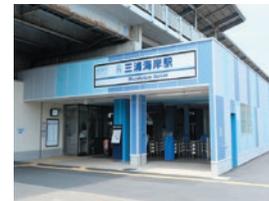
|||| サービスの向上

■ 駅施設の改良

車いす・ベビーカーおよびキャリーバッグなどをご利用のお客さまが利用しやすくなるよう、羽田空港国内線ターミナル駅(改札内・改札外)のエレベーター大型化を実施しました。ほかにも、三浦海岸駅の駅舎改築、北久里浜駅の旅客用トイレ改修、八丁畷駅・鶴見市場駅・日ノ出町駅のホーム上家改修などを実施し、安全で利便性のよい駅施設を整備しています。



羽田空港国内線ターミナル駅のエレベーターを大型化



三浦海岸駅の駅舎改築

■ 駅係員のサービス向上

① 全駅係員がAEDによる普通救命講習を受講

2006年6月から設置を開始したAED(自動体外式除細動器)は、同年11月には全駅設置を完了。現在では、泉岳寺駅を除く全72駅に81台を設置しています。AED導入に際して、京急線全駅の駅係員が普通救命講習を受講し、非常時の使用に備えています。



② サービス介助士の資格取得を推進

お年寄りやおからだの不自由なお客さまが、安心して駅をご利用いただけるよう、サービス介助士の資格取得を推進。また、お客さまからの介助要請や急病人に対して的確に対応できるよう、「普通救命講習」の受講も勧めています。さらに、お客さまが有資格者をひと目で識別できるよう、バッジによる資格取得表示も行っています。



■ 公衆無線LAN(Wi-Fi)サービスを拡大

訪日外国人向けフリーWi-Fiサービスの導入で、より便利な無料インターネット利用環境を拡大しています。2015年4月には、KDDI系列の「TRAVEL JAPAN Wi-Fi」に参画、2017年1月には、NTT系列の「KEIKYU FREE Wi-Fi」の提供を開始し、京急線全駅および全車両にて、海外からのお客さまにWi-Fiサービスを提供しています。

■ 京急お忘れものセンター

2016年4月、京急鶴見駅より徒歩2分に「京急お忘れものセンター」を開設しました。これまで沿線の警察署に届け出していた忘れものを、現金・貴重品など、法律で定める物件を除き、すべて京急お忘れものセンターで3か月間(傘は1か月間)保管するようになりました。平日に時間がとれないお客さまにもご利用いただけるよう、土・日・祝日も受付対応しています。



## 乗合・貸切自動車事業 (バス事業)

バス事業は、京浜急行バス、東洋観光、川崎鶴見臨港バスからなる3社で構成され、主な運行エリアは、東京都内から三浦半島全域です。路線バスのほか、羽田空港、成田空港への空港リムジンバスや、アクアラインバス、全国の主要都市を結ぶ高速バス、貸切バスも運行しています。

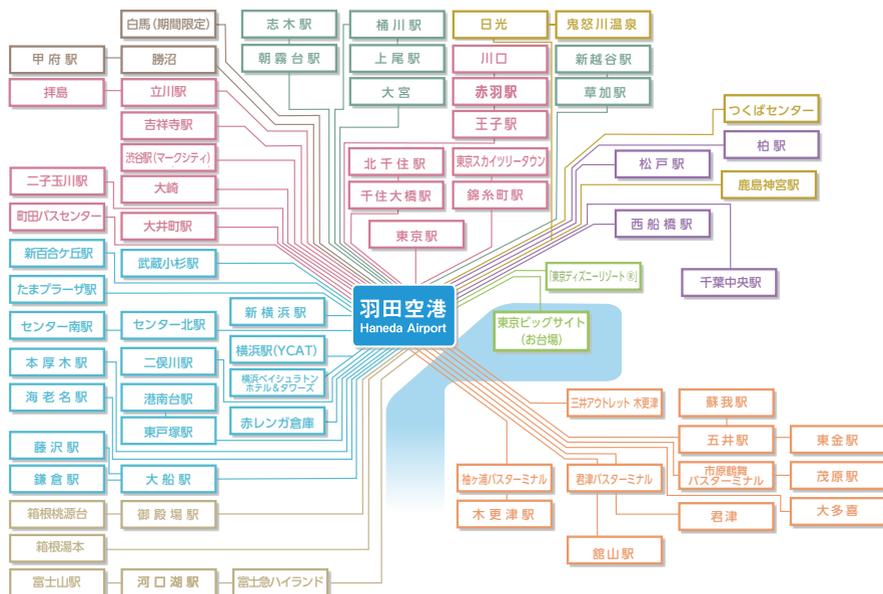
## 羽田空港直結ですますます便利に「空港リムジンバス」

### ■羽田から各地へ50路線運行

1968年に横浜～羽田空港線の運行を開始した空港リムジンバスは、現在では羽田空港と各地を結ぶ50路線のほか、横浜駅 (YCAT) と成田空港間の運行も行っています。近年は、羽田空港の国際線増便に伴う観光需要増を取り込むため、東京スカイツリー®や富士山、箱根、御殿場、日光など観光地への直通路線も運行しています。2018年9月には東京外環自動車道の開通により利便性が向上した松戸、2019年4月1日には人気スポット、三井アウトレットパーク 木更津への路線を開設しました。車両は、お客さまの手荷物を考慮し、大型のトランクスペースを装備した車両を採用。荷物を気にすることなく、ゆったりとご乗車いただけます。バス車内で利用できるフリーWi-Fiサービスのほか、現在の運行状況が確認できるバスロケーションシステムや多言語およびクレジットカード・交通系ICカード決済に対応した自動券売機の導入、深夜・早朝バスの運行など、より快適・便利にバスをご利用いただくためのサービス向上に取り組んでいます。



### ■空港リムジンバス



※ 2019年10月1日現在

## ■国際線旅客増加に伴った取り組み

国際線旅客増加に伴い、バス車内放送や車内表示器の多言語化や、国際線定期便の深夜・早朝時間帯路線の運行など、さまざまな取り組みを行っています。

### ①車内放送・車内表示器の多言語化

車内放送を英語・中国語・韓国語の各言語で対応しています。また、各言語で行先・到着停留所名などを表示する車内液晶表示器を順次導入しています。

### ②バス乗り場電光掲示板の多言語化

電光掲示板を多言語化し、英語・中国語(簡)・韓国語で対応しています。

### ③案内カウンター

バス乗車券の販売とご案内を中心としたカウンターを設置しています。

### ④深夜・早朝時間帯の運行

鉄道が運行していない深夜・早朝時間帯に都内各地・横浜エリアなどを結ぶ12路線を運行しています。

### ⑤多言語版ホームページ

路線や時刻表などの確認ができるホームページも英語・中国語(簡・繁)・韓国語で対応しています。詳細は[www.hnd-bus.com](http://www.hnd-bus.com)

### ⑥コンビニで予約乗車券の新規予約・発売

ローソン、ミニストップ設置のLoppiにて、予約乗車券の新規予約と同時発売が可能です。

### ⑦多様な決済手段

窓口・コンビニでの決済のほか、クレジットカード(VISA、MASTER)、ネットバンキング、銀行ATMでの決済にも対応しています。

### ⑧自動券売機の多機能化

2017年3月から訪日外国人のお客さまがストレスなく利用できるよう自動券売機に多言語タッチパネルを導入し、クレジットカードで乗車券を購入できるようになりました。また、2018年4月からは交通系ICカードも利用できるようになりました。

## ■車両の概要

空港リムジンバスの主力車両は、収容力を重視した60人乗り観光バスタイプの大型ハイデッカー車を採用しています。路線によっては、トイレ付き車両などを採用し、長時間の移動に備えています。60人乗り大型ハイデッカー車は、床下大型トランクや車内拡大式荷物棚、フリーWi-Fiサービスも備えた充実の車両です。標準的な外装は、ベースの白色に赤色でラインが描かれ、空港リムジンバスの特徴である“KEIKYU LIMOUSINE”のロゴと“カモメ”が鮮やかにペイントされています。



## ■バリアフリーに対応した空港リムジンバスの導入

京浜急行バスでは2016年3月から車いすに座ったまま乗車いただけるリフト付リムジンバスを導入しています。2019年3月には、エレベーター付空港リムジンバスを導入し、リフト付タイプと共に横浜～羽田空港線で運行を行っています。



## アクアラインバス・中距離バス

「東京湾アクアライン」を走行するアクアラインバスは、通勤やレジャー、ショッピングの足として、品川・川崎・横浜から房総各地へのアクセスが便利です。主要駅だけではなく、大型商業施設へ直行する路線もあり、好評いただいております。中距離バスは横浜・川崎・蒲田から東京ディズニーリゾート®や、横浜から八景島シーパラダイスといった人気の観光地の間を運行。大きな荷物を持つの乗り換えがなく、お子さま連れのお客さまにも人気です。

## 横浜駅・川崎駅・品川路線マップ



※2019年10月1日現在

### ■深夜急行バス

電車の運行終了後に、新橋駅・品川駅を発車する深夜急行バスは、「大船・鎌倉・逗子」「上大岡・金沢文庫」方面へ直線。お得な運賃でご利用になれます。

### ||||| 高速バス

東京・横浜と全国各地を充実のネットワークでつなぎます。独立3列シートやリクライニング、車内案内表示器の英語対応などで、お客さまの旅を快適にサポートします。

### ||||| 一般路線バス

東京台場地区から、蒲田・川崎・横浜・鎌倉、そして三浦半島一帯まで、京急グループの一般路線バスネットワークはきめ細やかに網羅・整備されています。通勤・通学や地域の足としての役割はもちろん、鎌倉・三浦などでは、観光の足としての役割も担い、毎日多くのお客さまにご利用いただいています。



### ■バスロケーションシステム

携帯電話・スマートフォン・パソコンでバスの現在位置が確認できるバスロケーションシステムを、2017年3月にすべての路線バスに導入しました。また、一部の停留所にバス接近表示器を設置し、利便性とサービスの向上を図ります。



### ■殿町地区・浮島中央地区への運行

川崎鶴見臨港バスは、国際戦略総合特区に指定された殿町地区の利便性向上のため、京急電鉄と川崎市が整備した京急大師線産業道駅前のバスターミナルから、殿町小島線、浮島中央線の2路線を運行しています。また、2017年8月から川崎駅前～殿町間で運行していた系統をキングスカイフロントまで延伸しました。今後も同地区の開発にあわせ、路線の再編を進めてまいります。

### ■バリアフリー対応

ご高齢の方・小児・妊婦・障がいのあるお客さまを含めた、すべてのお客さまが快適に安心して利用できるよう、段差のないノンステップバスを中心に、スロープ板やニーリング機能(乗降時に乗降口側の車高を下げて乗り降りしやすくする機能)付のバスを積極的に導入し、バリアフリー化を推進しています。



ノンステップバス



総車両数は、京急急行バス、川崎鶴見臨港バスの総数です。総車両数は、空港・高速・貸切バス車両などを含みます。

### ■下水高度処理水の有効利用

川崎鶴見臨港バスは、2019年3月19日に入江崎水処理センターで高度処理された水の利用協定を川崎市と締結しました。下水高度処理水をバスの洗車用水などとして有効利用する取り組みにより、地球環境に配慮する循環型社会の構築を目指しています。



### ■電気バス(川崎スマートEVバス)

川崎鶴見臨港バスでは、国土交通省の推進する「地域交通グリーン化事業」および川崎市の推進する「川崎駅周辺地区スマートコミュニティ事業」の一環として、川崎病院線の一部を電気バス(川崎スマートEVバス)で運行しています。電気バスは従来のディーゼルバスと比較して、40%のCO2を削減することができるなど、環境対策に非常に適しています。また、災害時には、バス車内に取り付けられたコンセントから給電をすることができ、バックアップ電源として使用することが可能です。



## ||||| 研修施設・設備の充実

### ■研修・教育センター

京浜急行バスでは、輸送の安全を確保するために、安全に関する教育・訓練計画を実施しています。研修・教育センターでは、専属の教官が新人運転士に対して安全運転に必要な知識・技術の教習を行っています。



研修・教育センター



バス運転シミュレーター

### バス運転シミュレーター

2017年に全国で初めて導入したバス運転シミュレーターは事故が起きやすい状況を模擬体験させることにより、運転士の予知予測能力を向上させます。2018年には新たに高速道路での運転に対応したプログラムを導入し、より多くの状況を体験することが可能になりました。

### ■教習車の導入

2018年5月、川崎鶴見臨港バスでは、乗務員の技術向上を目的に教習車を導入。バス教習車用デジタルタコグラフおよびドライブレコーダー、アイマークレコーダーなどが設置されており、より効果的な教習を行うことができるようになりました。新入社員教習はもちろん、採用実技試験、事故再発防止研修などにも、有効活用しています。



教習生席でのドライブレコーダー、デジタルタコグラフ画面

### Column

#### 京浜急行バスマスコットキャラクター「けいまるくん」

2018年10月1日に京浜急行バス運行開始15周年を記念し、マスコットキャラクター「けいまるくん」が登場しました。また、羽田・杉田・衣笠営業所の運行路線にはけいまるくんラッピングバスが運行しています。



## ||||| 「KEIKYU OPEN TOP BUS 横浜」運行開始

京急電鉄は、2019年4月20日から土休日に横浜・みなとみらい地区の都心臨海部を周遊する2階建てオープントップバス「KEIKYU OPEN TOP BUS 横浜」の運行を開始しました。これは、2017年度に横浜市が「まちを楽しむ多彩な交通」の導入を進めていくことを目的に、民間事業者へ提案企画を公募し、その中で採択された企画の1つです。「パノラマコース（往復コース）」と「きらめきコース（周遊コース）」の2コースがあり、同乗するバスガイドによる観光案内を聞きながら、主要観光スポットや、夜には横浜・みなとみらい地区の美しい夜景をお楽しみいただけます。



\*運行は京浜急行バスに委託しています

## タクシー事業

タクシー事業は、首都圏と三浦半島全域・鎌倉地区に6社7営業所を構え、事業を展開しています。環境やお客さまのニーズに対して、スピーディに対応するべく、スマートフォン用タクシー配車アプリや交通系電子マネーPASMO決済サービスを導入し、お客さまの日常の足として便利にご利用いただいています。

## ||||| お客さまの利便性向上を目指して

### ■お客さまニーズに対応

京急タクシーグループ（京急交通、京急横浜自動車、京急文庫タクシー、京急葉山交通、京急中央交通、京急三崎タクシー）では、京急沿線で常に安全な運行をこころがけ、安全・安心・快適にお客さまを目的地までお届けできるように、さまざまな取り組みを行っています。

#### ①スマートフォン用タクシー配車アプリ「ココきて・TAXI」「スマホ de タックん」

京急交通 品川営業所では、2013年5月からスマートフォン用タクシー配車アプリ「ココきて・TAXI」のサービスを開始しました。また、2015年8月からは新たに「スマホ de タックん」にも参画し、運用を開始しています。これにより、お客さまのニーズにあわせ、より便利で簡単に近くのタクシーを呼ぶことができるようになりました。また、タクシーの予約配車や料金検索など、さまざまなサービスをさらに便利にご利用いただけます。



#### ②決済サービスの向上

京急タクシーグループは、全車両（416台）へ交通系電子マネーPASMO決済サービスを導入しています。また、交通系ICカードの全国相互利用サービス開始に伴い、Suica、Kitaca、TOICA、manaca、ICOCA、はやかけん、nimoca、SUGOCAも電子マネーとしてご利用いただけます。ほかにも、京急プレミアムポイントサービス、クレジットカード決済など、多様なニーズにお応えし、お客さまの利便性の向上に努めています。



## ■ 空港アクセスを強化

京急タクシーグループでは、東京エリア～横須賀・三浦エリアまで「定額制タクシー」を導入しています。定額制タクシーとは、羽田空港・成田空港ターミナルと目的地を結ぶ2点区間において、あらかじめ明示された定額運賃でタクシーを利用できるサービスです。降車するまで運賃がわからないメーター料金では不安で、タクシー利用を控えられていたお客さまも、運賃を明示する定額制タクシーで、お気軽にご利用いただけます。

2014年12月からは、羽田空港国際線ターミナルを発着する定額制タクシーの利用対象エリアが拡大。横須賀市内全域と三浦市内全域が加わり、東京・川崎・横浜と三浦半島全域をカバーしました。2015年4月からは、国際線だけでなく国内線ターミナルも対象となり、羽田空港へのアクセスが、ますます便利になりました。



### 横須賀・三浦エリアへも便利な羽田空港発着の定額制タクシー

**横須賀市 追浜・田浦地区**  
定額運賃 11,600円  
深夜早朝割増運賃 13,700円

**横須賀市 逸見・本庁・衣笠地区**  
定額運賃 14,500円  
深夜早朝割増運賃 17,200円

**横須賀市 西地区**  
定額運賃 15,500円  
深夜早朝割増運賃 18,400円

**横須賀市 大津・浦賀・久里浜・北下浦地区**  
定額運賃 16,300円  
深夜早朝割増運賃 19,300円

**三浦市全域**  
定額運賃 17,600円  
深夜早朝割増運賃 21,000円

#### その他のエリア(参考)

【東京エリア】江戸川区、台東区、墨田区、文京区、千代田区、新宿区、渋谷区、足立区、葛飾区、荒川区、北区、豊島区、中野区、杉並区、世田谷区、板橋区、練馬区、武蔵野市、三鷹市  
【横浜エリア】港北区、神奈川区(金港町、栄町、大野町のみ)、西区、中区、南区、緑区、磯子区、旭区、保土ヶ谷区、都筑区、港南区、戸塚区、金沢区、泉区、青葉区、瀬谷区、栄区  
【川崎エリア】宮前区、高津区、多摩区、麻生区  
【鎌倉・逗子・葉山エリア】鎌倉市、逗子市、三浦郡葉山町

※ 2019年10月1日現在

## ■ 観光タクシー（横浜観光・鎌倉観光）

海外のお客さまからも人気の観光地、横浜と鎌倉において、貸切観光や個人旅行の足として便利な「観光タクシー」を導入しています。横浜観光タクシーでは、普通車タクシーで名所を巡る2時間・2時間半・3時間のコースをご用意しています。鎌倉観光タクシーでは、普通車タクシーに加え、9人乗りのジャンボタクシーを配備。2時間と3時間の推奨コースがあり、鎌倉の街を知り尽くしたドライバーが、お客さまの要望に応じて、さまざまな見どころをご案内しています。

